

本市の人口は、平成22年国勢調査の結果(速報値)、平成17年に比べ3822人、約1割の人口が減少しました。市はその対策として、子育て支援や定住促進に重点を置いて、人口の増加につながる特色のある施策や事業に取り組んでいます。先月号で紹介した、空き家・空き農地情報バンク制度と定住促進住宅建築費等助成金交付事業に続き、今月号は、安心して子どもを産み育てられる施策や環境づくりについてお知らせします。

子ども医療費支給事業
県下初 18歳まで無料

▽内容：子どもの健康の保持・増進、また、子どもを持つ家庭の経済的負担の軽減を図るため、0歳から18歳(18歳に達した年度末)までの医療費の自己負担分を全額助成しています(結婚をしている人や社会保険本人は除きます)。

申請により、「子ども医療費受給資格者証」の交付を受けることが必要です。出生届・転入届提出時などに、子ども課または各地域局で認定請求の手続きを行ってください。

認定請求時に必要なものは、

印鑑と健康保険証(受給者本人のもの)です。

▽利用状況：1月支払い分までの総支給額は8913万3千円で、対象が高校生まで広がったことで支給額は増加しています。

平成22年度の実績は、8599万4千円でした。

■問い合わせ 子ども課子ども支援係 ☎0288

高校生バス通学費補助金事業
定期券購入の半額を助成

▽内容：バス通学の高校生を持つ家庭の経済的負担の軽減と路線バスの利用促進を図るために設置した制度です。



バス通学の風景

補助要件は、居住地から学校までの区間において、実際に利用する区間のバス通学定期券。ただし、定期券の乗降車地が市内であるものに限り、補助金額は、定期券購入費用

の2分の1の額(100円未満は切り捨て)。定期券の使用期限が終了した日の翌末日までに、交付申請書と使用済となった定期券を市民課まで提出してください。

▽利用状況：1月末までの延べ交付者数は268人(実人員76人)で、補助金交付額は506万9600円。昨年12月の市議会増額の予算補正を行いました。

平成22年度の実績は、延べ交付者数82人(実人員35人)で、補助金交付額は106万8300円でした。

■問い合わせ 市民課交通係 ☎0282

不妊症対策支援事業
助成回数に制限なし

▽内容：不妊症のため、子どもが欲しくても持つことができない夫婦が、医療保険対象外の不妊治療を受けた場合の治療費を助成する事業です。

対象となる治療は、夫婦間で行われる体外受精、顕微授精です。助成要件は、夫婦のいずれか

が1年以上市内に住所を有すること、体外受精や顕微授精以外の治療法では、妊娠の見込みがないか、極めて少ないと医師に診断されていることなど。

助成額は、治療費から県費助成相当額(1件につき15万円)を除いた額で、助成回数の制限はありません。

▽利用状況：1月末現在の申請件数は8件で、助成額は195万1176円。平成22年

度は、申請件数6件、助成額は、190万1508円でした。

方は、3LDKのオール電化住宅を3戸建設中で、入居者募集は4月を予定しています。募集要項など詳細は、広報紙4月号でお知らせします。

地域優良賃貸住宅整備事業
子育て世帯向けの市営住宅

▽内容：子育て世帯を対象にした賃貸住宅を建設しています。

本年度は、高倉町大瀬八長に木造2階1戸建て、床面積87・9平

■問い合わせ 都市整備課住宅係 ☎0237

平成21年度は、津川町今津に木野山駅前住宅2戸、22年度は成羽町星原に星ヶ丘住宅2戸建設しました。

高梁へ越してきました!



定住促進住宅建築費等助成制度を活用し、中古住宅を購入・改修して新しい生活を始めました。

古舞 信之さん(64)、古舞 晴美さん(63) (落合町阿部)

昨年4月に高梁市へ引っ越してきました。もともとは備中町の生まれですが、長年、岡山市で暮らしてきました。

親戚が開いた飲食店を父親が継ぎ、その後を私が受け継いでいたが、長引く不況と子どもたちもそれぞれ独立したのを機会に、ふるさとに近いところへ帰り、余生を過ごしたいという気持ちが高まっていました。

墓参りで帰った際に偶然、目に留まった今の物件がとても気に入り、建設屋さんの紹介で、高梁市の定住促進の補助金のこともしりました。家を直したり引っ越しなどで、いろいろと費用もかさみましたが、行政がこうして手助けをしてくださり、たいへん助かりました。

地に根付いた歴史と文化、素晴らしい自然、思っていた以上に不便を感じさせない高梁がとても気に入り、知人にも高梁のことをよく話しています。

ここで生活を始めて10か月余りですが、ご近所の方にも親しくしていただき、新しい環境にもすんなりとなじむことができ、こちらに来てますます元気もいただきました。

今は、これまでの仕事で培ってきたことを生かし、地域の人に気軽に寄っていただけるようなお店を開こうとがんばっています。

■定住促進住宅建築費等助成制度についてのお問い合わせは、市民課市民定住係 ☎0254へ



建設中の子育て世帯向け住宅